



学校運営協議会とは何？

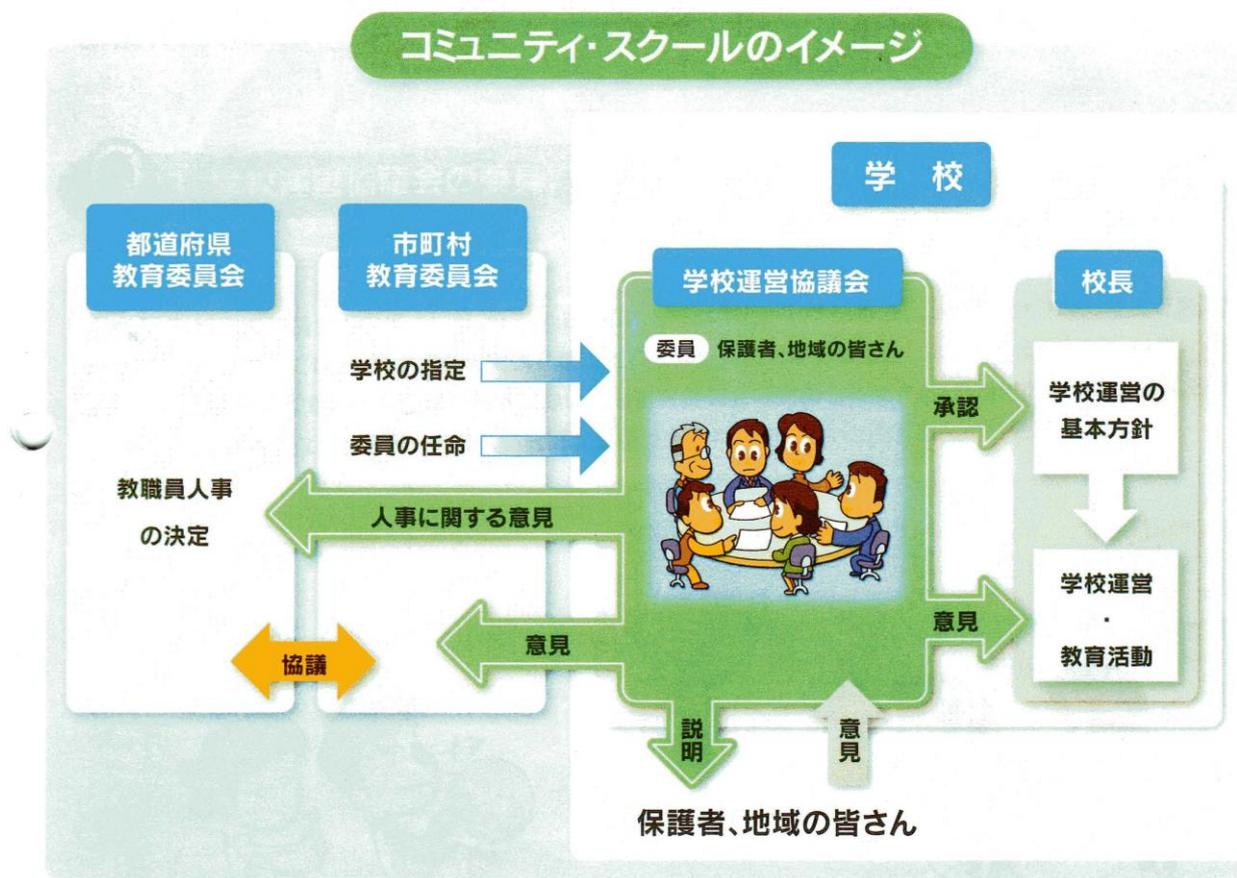
「学校運営協議会」は教育委員会の下部組織として、保護者、地域住民、学識経験者、学校代表などで構成され、法律に基づいた一定の権限と責任をもって、学校運営に関与する役割を担っています。地域のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現に取り組むことを目的としています。

「地方の教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成 16 年 9 月 9 日から施行されました。この法律により、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置が可能になりました。

この「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール^{注1}」と呼んでいます。瀬谷さくら小学校もこの「コミュニティ・スクール」に指定されました。全国では幼稚園 22 園、小学校 334 校、中学校 114 校、高等学校 3 校、特別支援学校 5 校の合計 478 校が、コミュニティ・スクールに指定されています。

瀬谷さくら小学校の学校運営協議会の委員には、瀬谷さくら小学校区の各自治会・町内会の代表、PTA の代表も入っていますので、学校運営に関する皆さんのご意見やご要望を是非お寄せください。

注1) 学校開放の一環として市民のクラブ活動支援や市民図書室を運営しているコミスクと同じ呼称ですが、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールはまったく別のものです。



- ★コミュニティ・スクールでは、教育課程の編成など学校運営の基本的な方針について、学校運営協議会が承認を行います。学校と地域が一体となって教育方針を決めていきます。
- ★学校運営協議会は、目指す教育方針の実現のために「こんな先生に来てほしい！」と教育委員会に意見を述べるすることができます。教育委員会は、その意見を尊重して人事を行います。

瀬谷さくら小学校の教育目標と経営方針

教育目標

「自分大すぎ 友だち大すぎ このまち大すぎ さくらの子」

- (知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。
 ⇨基礎基本を身につけるために、学びの集団や空間の多様化を進め、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。
- (徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子を育てます。
 ⇨規範意識を育て、善悪の判断ができる子、自分を大切に・他を思いやれる子に育てます。
- (体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。
 ⇨望ましい生活習慣を身につけ、進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。
- (公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。
 ⇨地域の方々とのふれあいを通して、地域を愛する子供を育てます。
- (開) 様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子に育てます。
 ⇨情報教育などを中心に、様々な今日的課題に対応できる力を育てます。

中期学校経営方針

(平成 22 年度～24 年度)

人間形成 (知・徳・体・公・開で示す子どもの実現)

- ・ 読む・聞く・話す・書く・計算力を高める指導を充実させます。
- ・ 読書力向上を図る取り組みの充実を図ります。
- ・ 道徳教育の充実を図ります。
- ・ 自己有用感をもたせ、規範意識や挨拶を大切にする指導の充実を図ります。
- ・ 人権尊重の精神を基盤とする教育を推進します。
- ・ 体力向上に関心をもたせる指導をします。
- ・ コミュニケーションツールを使っての指導の充実を図ります。

学力形成

- ・ 瀬谷さくら小学校算数検定、国語検定を実施します。(校内漢字・計算検定試験に力をいれ、子どもたちが自分のペースで意欲的に取り組み、基礎的な力が身につけられるようにします。)
- ・ 自分の考えをもち、筋道を立てて友だちに説明できるようにします。
- ・ 学年毎に、学力向上プラン、体力向上プラン、徳育推進プランを策定し、実践します。特に、視写、計算力、語り合いを重点化します。徳育推進プランでは「あいさつ」に力点を置き、しっかり挨拶の出来る子を目指します。
- ・ 生活、学習の基礎として、基礎的な言語事項を一人ひとりに身につけさせます。

第1回学校運営協議会開催

5月25日、横浜市教育委員会西部学校教育事務所から宮沢氏、青木氏をオブザーバーに迎えて、横浜市立瀬谷さくら小学校の第1回学校運営協議会が開催されました。古川校長先生より、委員の紹介、設立テーマ、設立目的、活動計画案、教育目標、経営計画などの説明がありました。

1. 設立テーマ

“共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」
～みんなの力で守り育てよう瀬谷さくら小学校・さくらの子～”

2. 設立目的

下瀬谷小学校の児童数増加に伴い、昭和55年9月に日向山小学校が独立し、30数年の間それぞれの学校が独自の学校文化を築き上げてきました。しかし、両校の児童数減少を期に、再編統合の計画が持ち上がりました。約2年間の準備・検討委員会の話し合いを経て、平成22年4月に「瀬谷さくら小学校」が誕生しました。

教育委員会に提出した「再編統合の意見書」に、検討委員会の要望として、「学校、家庭、地域が共に児童の成長を見つめていく学校運営をして欲しい」との意見が盛り込まれました。また、それぞれの文化を作り上げた二つの学校が一つになることは、児童、保護者、地域にとって多くの課題が想定されます。新校に係わるそれぞれの立場の皆さんの協力を得て、学校づくりを推進していくことが関係者の願いでもあります。

瀬谷さくら小学校創立を期に、子どもたちの健やかな成長を願い、新しい学校をみんなで創り、育てていくことを目的として、学校運営協議会を立ち上げることになりました。

3. 委員の紹介

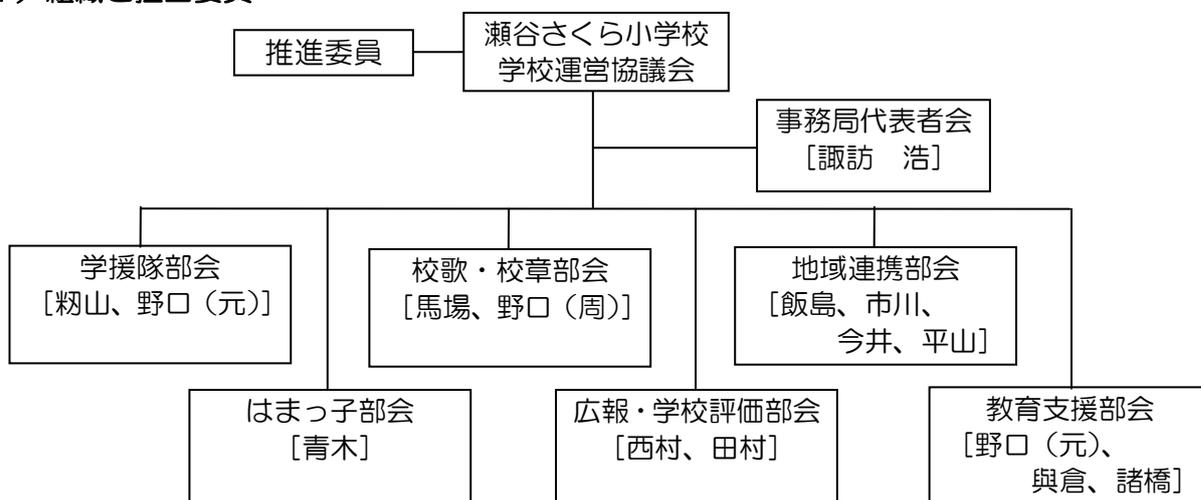
平成22年度の委員として、地域代表9名、保護者代表4名、学識経験者1名、学校代表1名が紹介され、それぞれに委嘱状が手渡されました。続いて、役員選出が行われ、会長に網代宗四郎委員、副会長に馬場勝己委員と野口周作委員、書記に野口元委員、会計に西村快晴委員、会計監査に飯島通博委員と今井保美委員がそれぞれ選出されました。

区分	役職	氏名	団体役職
地域住民	会長	網代宗四郎	瀬谷第二地区連合自治会 会長 南瀬谷ニュータウン自治会 会長
	副会長	馬場勝己	ひなたやま第二自治会 会長
		羽山金久	下瀬谷自治会 会長
	会計監査	飯島通博	下瀬谷団地自治会 会長
	会計	西村快晴	下瀬谷第三町内会 前会長
	会計監査	今井保美	ひなた山第一自治会 前会長
		諸橋茂夫	ひなた山第三自治会 前会長
	書記	野口元	瀬谷さくら小学校学援隊事務局
		青木俊太郎	瀬谷さくら小学校はまっ子チーフパートナー
保護者	副会長	野口周作	瀬谷さくら小学校 PTA 会長
		田村順子	瀬谷さくら小学校 PTA 副会長
		市川ゆかり	瀬谷さくら小学校 PTA 副会長
		平山恵美子	瀬谷さくら小学校 PTA 副会長
学識経験者		與倉光男	市立中学校 元校長 元日向山小学校はまっ子チーフパートナー
学校代表		古川幸子	瀬谷さくら小学校 校長

4. 組織と活動内容

22年度は、学校運営協議会の中に①学援隊部会、②はまっ子部会、③校歌・校章部会、④広報・学校評価部会、⑤地域連携部会、⑥教育支援部会の6つの部会を設け、それぞれ活動していくことになりました。また、学校運営協議会の事務局を瀬谷さくら小学校におき、地域連携コーディネーターである諏訪先生が担当されることになりました。

(1) 組織と担当委員



(2) 各部会の活動内容

1) 学援隊部会

瀬谷さくら小学校がコミュニティ・スクールに指定されたことを期に、学援隊は学校運営協議会の1部会として活動することになりました。(詳細は5ページ)

2) はまっ子部会

学援隊と同様、はまっ子ふれあいスクールも学校運営協議会の1部会に組み込まれました。活動内容は従来と同じで、放課後および日曜、祝祭日、年末年始を除く学校休業日に、児童の自主的で自由な遊びの見守りや体験活動などを行います。

3) 校歌・校章部会

新しく開校したばかりの瀬谷さくら小学校には未だ校歌、校章がありません。その校歌、校章を作るために、校歌に盛り込みたいイメージや単語、校章のイメージなどの案を作成し、それを作詞作曲やデザインの専門家に提示して、校歌、校章を作成する役割を担っています。

4) 広報・学校評価部会

学校運営協議会の活動を中心にした広報活動(具体的には広報誌の編集)、および、学校運営に関する評価項目の立案・評価などを行います。

5) 地域連携部会

さくら小地域夏まつりや秋季防災訓練などに協力、支援すると共に、学校・家庭・地域の交流、連携をより一層深めるためのイベントや施策を立案します。

6) 教育支援部会

体力向上支援、学力向上支援、徳育推進、クラブ活動支援などのボランティア活動を考えていますが、支援とはいえ教育現場に素人が入ることは様々な考え方があり、何ができるか、今後、学校運営協議会の中で協議していくことになりました。

統合後の児童の様子について

4月と7月に学校が実施した児童と保護者を対象にしたアンケート結果をご紹介します。

アンケート結果や日頃学校での児童の様子から、学校では、「子どもたちは、統合による新しい環境や友だちにあまり抵抗無く、すんなりとなじんでいる様子である」と分析しています。これは、学校関係者の周到な準備のおかげだと思います。子どもたちの順応性の高さにも感心させられます。4月と7月の結果の違いについては、「開校や新学期を向かえて、希望に胸を膨らませていた4月に比べて、7月にはやや落ち着いて、普段のリズムを取り戻したのではないか」ということです。また、「保護者は学習意欲に対してもどかしさを感じているのではないか」とも分析しており、今後の課題と考えています。

それにしても90%以上の児童が、「勉強をがんばろう」、「よい学校にしたい」と考えていることは頼もしい限りです。私たちも子どもたちの期待にこたえるべく努力していきたいと思えます。

	アンケート項目	児童		保護者	
		4月	7月	4月	7月
1	学校は楽しい	93	88		
	楽しく学校へ通っている			97	96
2	友達がたくさんできそうだ	93	95		
	新しい友達ができよう			92	95
3	勉強をがんばろうと思う	91	89		
	学習への意欲が感じられる			87	81
4	良い学校にしたいと思う	93	90		
5	気持ちは安定しているようだ			92	86

数値は「そう思う」「どちらかというと思う」を合計した割合(%)

瀬谷さくら小学校学援隊発足

6月8日、「瀬谷さくら小学校学援隊」の設立総会が開催され、隊長には下瀬谷自治会の羽山金久会長が選ばれました。

学援隊は、「自治会・町内会、地区、PTAの各個別組織により構成され、学園隊の規約を承認、合意してボランティアとして参加する」ことになっています。

その目的は、「瀬谷さくら小学校における児童の安全・安心の確保を図るため、学校安全管理にかかわる活動を行う」ことにあります。具体的には、①校内とその周辺、および登下校時の通学路における児童の安全見守り活動、②その他目的を達成するために必要な活動として、青パトによる通学区域の安全パトロール、活動資金を捻出するためのアルミ缶回収などを行っています。

瀬谷さくら小学校区交流会発足

6月15日、「瀬谷さくら小学校区交流会」の発足総会が開催されました。交流会は、下瀬谷小学校区交流会の初志を引き継ぎ、「地域をになう人間性豊かな児童の育成を図る」ことを目的として、ひなた山地区を加えた有志により設立準備を進めてきたものです。会員には、自治会・町内会、諸団体、PTA、学校教職員など137名の方々登録されました。

交流会の主な事業は、①さくら小地域夏まつりの開催、②地域、学校、PTAとの親睦交流、③PTAとの連携、協力、④学校行事への参加、協力などです。

総会では、羽山金久下瀬谷自治会会長が会長に選出され、ほかに、副会長6名、会計2名、会計監事2名、顧問2名が選出されました。また、事務局を設置することが決まり、4名が実務を担当することになりました。

第2回学校運営協議会開催

7月5日、横浜市立瀬谷さくら小学校の第2回学校運営協議会が開催されました。

1. 校歌・校章部会提案

校歌・校章に関する決定プロセスが提案されました。それによると、校歌については、校歌のイメージや校歌の歌詞の一部や単語を、校章についてはそのデザインイメージを公募することになりました。ともに7月中に一般公募を行い、学校運営協議会で案を絞り込み、9月には専門家に発注。2月の体育館改装お披露目に合わせて、校歌、校旗のお披露目を行います。



2. 教育支援部会提案

学校長から提案された「児童支援ボランティア募集」に関して議論を行いました。その中で、教科学習支援については、家庭科やパソコン学習、地域学習などの補助的な支援は可能かもしれないが、国語や算数の授業支援は難しいのではないかという意見が多く出されました。

8月中旬を目途にボランティアを募ることになりました。

さくら小地域夏まつり開催



夜は盆踊り大会が行われ、下瀬谷自治会「太鼓の会」による和太鼓演奏に合わせて、北新自治会の「女性の会」や下瀬谷自治会、南瀬谷ニュータウン自治会の踊り愛好会の皆さんのリードで大きな踊りの輪ができました。

今年からひなた山地区の人たちも加わり、例年にも増して盛況なお祭りでした。子供達も夏休みの楽しい思い出になったことと思います。

7月17、18の両日、瀬谷さくら小学校区交流会主催による「さくら小地域夏まつり」が瀬谷さくら小学校校庭で盛大に開催されました。

会場には、瀬谷さくら小学校区の各自治会・町内会、PTA、PTA・OB、教職員などによる模擬店がずらりとテントを連ね、大勢の人たちが買い物やゲームを楽しみました。今年、初登場したひなた山地区の和風スイーツは、大変好評だったようです。



秋季防災訓練実施

8月28日、炎天下の校庭で、瀬谷さくら小学校地域防災拠点主催の「秋季防災訓練」が、大勢の地域住民や瀬谷さくら小学校全学年の児童生徒、PTA、教職員が参加して行われました。



訓練は、消防隊員による放水訓練デモで始まり、簡易担架作成・搬送訓練、簡易トイレ作成訓練、水消火器取り扱い訓練、煙体験、バケツリレー訓練などが行われ、地域住民に混じって子どもたちや、学校教職員も訓練に取り組みました。

毛布を使って簡易担架を作り、けが人を搬送する訓練では、こんな簡単な仕掛けで重たい大人でも搬送できることに皆感心していました。

また、煙体験では、背をかがめて避難することにより、煙を吸わないようにすることができると実感することができました。



幸いにも私たちが住んでいる地域では、このところ大きな災害が無く、災害に対する備えもおろそかになりがちですが、世界では大地震や大水害が頻発しており、ロシアでは大森林火災も発生しています。

防災訓練を機会に災害に対する考えや備えを新たにしておくことが大切なことだと思います。また子どもたちにとっては、訓練を通して消防隊員や地域住民とふれあい、協働したことは貴重な体験になったことと思います。

第3回学校運営協議会開催

8月10日、瀬谷さくら小学校の第3回学校運営協議会が開催されました。

1. 校歌・校章部会報告

校歌、校章のイメージあるいは歌詞の一部や単語を、児童、保護者、地域、学校教職員の皆さんに広く公募しました。その結果、校歌に関しては18名の方から60余件、校章に関しては9件の応募がありました。

校歌について

校歌のイメージとしては「明るく爽やかで元気な曲」、歌詞の一部や単語としては「さくら咲く、緑あふれる、未来、希望、勇気、手を取り合って」といった、いい環境の中で元気で仲良く未来へ羽ばたいて欲しいと願う文言が多く寄せられています。

校歌の制作については、下瀬谷小学校出身のシンガーソングライターである「落合さとこ」と、落合さんが音楽の師匠と仰ぐ「久保研二」氏に依頼することになりました。落合さんは、瀬谷さくら小学校の開校記念コンサートにも出演されていますので、なじみの方も多いのではないかと思います。

古川校長先生と綱代会長を交えた打合せが2回ほど行われ、募集したイメージや単語が手渡されました。お二人は大変熱心で、歌のイメージを更に高めるためと言って、学校内や学校の周辺

を散策されたり、歌われるのと同じ環境の中で制作するのが一番と、学校の音楽室で作曲に取り組んだりされているそうです。きっとすばらしい校歌が出来上がることと思います。

落合さとこさんのプロフィール

下瀬谷小学校出身のシンガーソングライター
女性ユニット「きんと雲」「イニッシュモア」
のメンバーとしてメジャーで活躍、1999年、
ソロに転じる。

「くちすさみ」と題したライブを継続的に
行うと共に、ミニアルバム「ゼリーの心臓」、
「ランプと靴下」のほか2枚のアルバムを発表。

心のひだを、一語一語、丁寧に創り歌う、
独特の詩的世界を展開している。

2009年、マレーシア映画「心の魔」「my
daughter」に本人歌唱作品が起用された。

NHK みんなのうた、CM 歌唱、CD 歌唱、
ナレーション、ラジオパーソナリティ等、多
方面で活躍中。上野洋子らとのユニット「マー
シュ・マロウ」においても、躍進中である。

現在は、山口・湯田温泉に「猫髭うたたね舎」
を構え、首都圏と湯田温泉を行き来しながら、
独自のスタイルで活動している。

山口ケーブルビジョン「山口でうまれた歌」
の企画制作も担当。

“落合さとこさん ホームページ”

<http://www2.plala.or.jp/ochiaisatoko/>

久保研二氏のプロフィール

兵庫県尼崎市出身の文筆家、音楽家

1978年、関西ニューウェーブの伝説的バンド
B.C スネークスを結成し、多くの作品を発表
した。

一時、音楽を離れ会社を興し、サブカルチャー・
リサイクル事業の先駆者となる。

1994年、音楽活動を再開。2004年、シン
ガーソングライター落合さとこのプロデュース
を受諾。2005年、アルバム「ゼリーの心臓/
落合さとこ」を制作。

2009年、アルバム「ランプと靴下/落合さと
こ」を、「猫髭うたたね舎」からプロデュース。
冒頭曲「のうみそ」が、シャーロット・リム監
督による、釜山国際映画祭出品のマレーシア映
画「My Daughter」のエンディングテーマに、
日本語歌唱（落合さとこ）のまま採用され、話
題になった。

山口ケーブルビジョン「山口でうまれた歌」
の為に、毎月一曲、新曲を書き下ろし（作詞、
作曲）、提供中。

“山口で生まれた唄 ホームページ”

<http://www9.plala.or.jp/yamauta/>

校章について

やはり「さくら」の花びらを配した作品が多く寄せられています。その中に何とか「瀬谷」を表現しようと苦心されているようです。中には、横浜市のマークや瀬谷区のシンボルマークを取り入れた作品もありました。

これから専門家にデザインをお願いすることになりますが、現在、人選中です。

2. その他の部会報告

広報・学校評価部会、地域交流部会、教育支援部会から、活動報告と今後の活動計画が報告されました。

【編集後記】

それぞれの伝統と文化を築いてきた下瀬谷小学校と日向山小学校。統合する過程では、様々な思いが関係者の胸に去来し紆余曲折もありました。しかし、統合後に皆さんに話を聞くと、統合してよかったと口をそろえておっしゃっています。心配された混乱は無く、子どもたちは友だちが増え、保護者や地域住民は交流の範囲が広がったことを喜んでいますが、この間の教職員やPTAの方々の努力と心配りは並大抵のことではなかったと思います。

統合と同時に学校運営協議会が設置されました。学校運営協議会は、学校の運営にあなたの声を生かす新しい仕組みです。「地域に開かれた信頼される学校づくり」を目指し、いま学校は変わり始めています。みんなで「瀬谷さくら小学校」を盛り上げましょう。

学校運営協議会だより
創刊号
平成22年9月21日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会

発行責任者
会長 網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会